

地域の支え合い通信

～であい♥つながりあい♥支えあい～



「誰もが住みよい志免町」にしていくためには？

地域では町内会やボランティアグループなどを中心に
見守り活動や居場所活動などが行われていますが、役員
の高齢化、担い手不足等の課題があります。

昨年度は地域と事業所の連携事例等をテーマに「ふくし
のまちづくり交流会」を開催しました。交流会を踏まえて
8月27日（火）に開催された地域ケア推進会議にて、
今後の取り組みについて話し合いました。



ふくしのまちづくり交流会の内容（令和5年11月17日開催分）

- 地域と連携した取り組みや地域貢献活動をされている事業所の取り組み紹介。
- 住民、事業所職員で地域活動の課題や事業所として出来ること等を情報交換。

交流会参加者の感想

【地域住民】

- 様々な事業所の方が地域の事を考えて活動していることを知れた。
- たくさんの事業所があることを知り、活用したいと思った。

【事業所】

- 住民の方々の生の声が聞け、参考になった。
- 地域の方の話を持ち返り、何が出来るか考えていきたい。

上記の内容を踏まえ、今後以下の取り組みを行っていく予定としています。

今後の取り組み

- 既存の会議を活用して事業所を周知

地域福祉活動の中核を担っている町内会長、民生委員・
児童委員、福祉推進委員の定例会等を活用し、事業所活動を紹介する。



- 住民と事業所が参加する会議の場を設ける

地域貢献活動をしたいという想いの強い事業所と
その活動を希望する町内会や住民とで話し合いの場を設ける。



令和6年度前期 活動報告

令和6年4月～令和6年9月

生活支援コーディネーターが関わった地域での支え合い活動などを一部ご紹介します。

ふくしのまちづくりプロジェクト

町内会単位で実態調査を行うことで地域の現状を知り、その結果から今後地域でできる支え合い活動や、他分野の活動者、企業などと協働して解決策を考えるプロジェクトです。

地域での支え合い活動が軌道にのるまでの側面的支援も行っています。

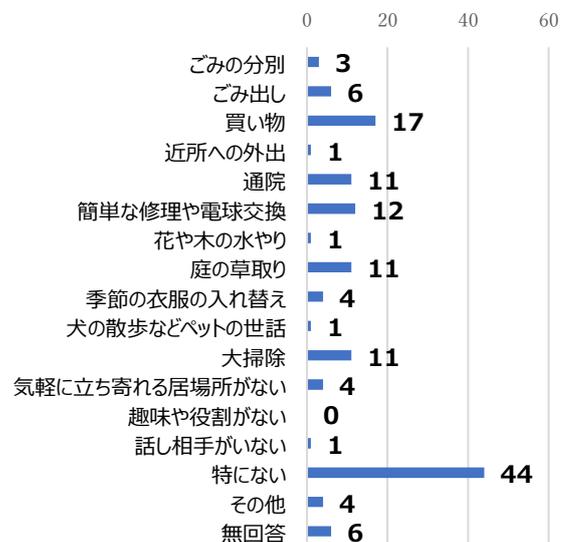


桜丘中央町内会

70歳以上の方（事前にアンケート協力を了承いただいた方）を対象に生活に関するアンケートを行い86名の回答がありました。

アンケート結果を踏まえて、負担の少ない範囲でできそうなこととして「資源回収」「電球交換」「ごみ出し（缶・ビン、不燃ごみ等の重いもの）」に活動を絞ってボランティアを募集することになりました。

40～70代の5名から申込があり、顔合わせ会を行う予定としています。



その他では「大型ごみの処分」や「資源回収」をあげられた方もおられました。

坂瀬町内会

住民同士の交流・つながりづくりを目的に、全世帯を対象に集会所活用に関するアンケートを行い159世帯から回答がありました。集会所で開催されるサークルや同好会には参加したいが自主的に活動するのは難しいと回答された方が多かったこと、講師を担える・備品を貸し出せると回答された方もいましたがお会いしたこともないのでお願いしづらいとの意見があり、まずはお互いを知る機会をつくるため全世代を対象としたカフェ活動を行うことになりました。

「よりみちカフェ」として8月から月1回活動を行います。

みんなでおいでよ

よりみちカフェ 開催!

日時 10月12日(土) 13時～16時
第2土曜日開催予定
時間内はいつでもいつ帰っても自由です

場所 坂瀬集会所
参加費 100円(飲み物とお菓子)
18歳までの子供は無料!

囲碁、将棋、オセロ、トランプなど色々をご用意しています。
ふらっと寄っておしゃべりしたり子供たちは宿題しにきたり自由に過ごせる場所、それがよりみちカフェです。
坂瀬団地に住んでいる方なら(赤ちゃんからお年寄りまで)どなたでも気軽にお越しください。

お待ちしております

認知症モデル事業の開催

認知症になっても安心して暮らせる志免町をめざして、志免町役場福祉課と志免町社会福祉協議会が連携して認知症モデル事業（認知症の勉強会、全3回）を行っています。令和6年度は桜丘一町内会、別府町内会で開催しました。



桜丘一町内会（5・6・7月開催）

【プログラム】

第1回	認知症サポーター養成講座
第2回	認知症の方との関わりを事例を通して考える （認知症の本人や家族の気持ちを考え、関わり方を考える）
第3回	認知症になっても安心して暮らせるまちを考える （認知症の本人の気持ちを聞き、自分が認知症になった時のことを考える）



別府町内会（7・8・9月開催）

【本人座談会の映像で印象に残ったこと】

- 周りが全てやってあげる(支援する)のではなく、本人ができることを見つけたり、工夫をすることでできるだけ今までの生活を続けていける。
- 認知症をオープンにすることは勇気がいるが、オープンにすることで周りの人が気にかけてくれたり助けてくれたりする。信頼できる人にはオープンにしたい。
- 認知症であることや手助けして欲しいことを伝える方法として、運転経歴証明書やヘルプカードを活用している。



志免町の居場所事例集 更新（2年に1回更新しています）

町内会や団体、事業所などが行っている居場所活動の情報を更新しました。

事例集は志免町役場福祉課や社会福祉協議会の窓口においているほか、社会福祉協議会のホームページからダウンロードも可能です。

今回新たに始まった活動は次の5か所です。詳細は居場所事例集をご覧ください。



居場所事例集は
こちらから ↓

居場所活動の名前	日時	場所
憩いカフェ	第3月曜 10～12時	志免2コミュニティセンター
音楽サロン	第3水曜 14～16時	王子八幡共同利用施設
ブックカフェ	第1金曜 13～16時	王子八幡共同利用施設
シネマカフェ	第3金曜 14～16時	王子八幡共同利用施設
おかわり食堂～うま一本～	第1木曜 17～20時	志免町志免 1-1-1

※対象者が決まっていたり、参加費が必要な活動もあります。

地域サポーター登録事業所のご紹介

令和5年10月～令和6年9月に新たに登録された事業所を紹介します。（敬称略、順不同）

株式会社ダスキンサーヴ九州

ダスキンヘルスレント福岡東ステーション

福祉用具の貸与、販売をされている事業所です。地域向けに福祉用具の紹介や活用方法を教えてください。福岡市で講話をされた実績もあります。

株式会社相即 いやしの家

認知症の方の入居施設であるグループホームや、デイサービスを町内で運営されています。入居の有無に関係なく認知症介護の相談を受け付けておられます。お気軽にご相談ください。

もりもり商店

青果物の移動販売事業所で、毎週火・金曜の午前に桜丘中央町内会で移動販売をされています。12月からは王子八幡町内会でも移動販売を開始されます。販売場所を募集中です。

アットホーム博多の森

特別養護老人ホーム、ショートステイ、デイサービスを運営されています。地域向けに介護サービスについての出前講座、デイサービスで行っている体操体験をさせていただきます。

介護サポートひいろ

企業、個人に向けた介護保険外サービス（自費）を介護や障害などのある方々に向けて行っておられます。お気軽にお問い合わせください。



志免町社会福祉協議会では「地域のニーズ」と「地域の応援」をマッチングさせ安心して暮らせる支え合いの町づくりを目指します！



地域

志免町社会福祉協議会

個人・企業
商店・団体

「日常のちょっとした困りごとの手伝いをしてもらいたい」
「活動にあたり〇〇が足りない」
「地域活動を応援してもらいたい」
「専門家を派遣してもらいたい」 etc...

Matching

「専門知識を地域貢献に活かしたい」
「困っている人を助けてたい」
「地域のために何かしたい」
「地域の取り組みを応援したい」 etc...

地域サポーター 募集中

地域サポーター
募集チラシはこちら ↓



(表)



(裏)

事業所用
登録フォームは
こちら ↓



生活支援コーディネーターのご紹介



生活支援コーディネーターは「地域支え合い推進員」とも呼ばれ、地域での支え合い活動を広める役割を担っています。介護が必要な状態になっても住み慣れた地域で自分らしくいきいきと暮らしていけるよう、住民の皆さんや事業所、各種団体などと協働しながら、地域における支え合いの体制づくりを進めていきます。志免町では町からの委託を受け、志免町社会福祉協議会が担っています。

【お問い合わせ先】 志免町社会福祉協議会 TEL：092-937-3011